



VISGO

この商品は、(株)セガ・エンタープライゼスがSEGA MEGA DRIVE専用のソフトウェアとして、自社の登録商標 **SEGA** の使用を許諾したものです。

T-58013

ダークナの来来来

取扱説明書

SPECIAL



VISGO

このたびはメガドライブカートリッジ「ワ
ードナ^{しり}の森 スペシャル」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。ゲームを始め
る前にこの取扱説明書をお読みいただきま
す。と、より楽しく遊ぶことができます。



ワードナの森^{未来} SPECIAL

C O N T E N T S

ストーリー..... 3

操作方法^{そうさ ほうほう}..... 7

武器の説明^{ぶき せつめい}..... 8

ショップとアイテム..... 9

各ステージの説明^{かく せつめい}..... 11

攻略法^{こうりゃくほう}..... 22



しょうねん
少年よ、
いま た あ
今こそ立ち上がれ！
あい もの
愛する者のために。

しやう ひとびと としあ くる
昔、人々が幸せに暮らしていたある
都市があった。その都市の名は「テツ
オン」。人々は、いつも楽しげで笑顔を絶
やさず、小鳥たちは唄をさえずり、楽園ともいえ
るような街であった。

その幸せは、その昔一人の勇者によって得られたもの
であった。

ひとびと へい わ くる とま まち あく まほうつか
人々が平和に暮らしていた時、街に悪の魔法使い「ワ
ードナ」がやってきて、人々を魔法の力で水晶玉に変
えていった。ワードナは、その水晶玉を与えることで
様々な魔物を手下に引き入れようとしたのであった。

「誰かワードナを倒す者はいないのか。」

「このまま、街はやられてしまうのか。」

まち に だ もの
街を逃げ出す者さえでてきた。

そんなとき、一人の勇者が現れワードナと勇敢に戦い、
その壮絶な戦いの後、ワードナを石の棺に閉じ込めた
のであった。そうして平和と幸せがおとづれたのであ
った。

それなのに……。不幸は再び、とつじよおす
突如訪れた。

ちかく か ざん ふん か だい じ しん お いし けつぎ ふた
近くの火山の噴火により、大地震が起き石の棺の蓋が
開いてしまったのだ。

ワードナはこのチャンスを逃さずに飛び出した。

「こしゃくな人間どもめ。長い間、こんなところに閉

じ込めよって。覚えていろよ。私の力を思い知るがよい！」

ワードナは、復讐とばかりに人々を水晶玉に変えてい
った。そして、その水晶玉で魔物どもを次々と手下に
していった。

それでも懲りないワードナは魔物どもをも使い、人々
を次々と水晶玉に変えていった。

ひとびと おそ
人々は、恐れおののき逃げ回ったが、とうとうこの街
には生きるものはいなくなってしまうた。

それから、長い年月がたちその都市は、うつそうとし
た深い森におおわれた。今はもう、その森を訪れるも
のではない。

人は、その森を「ワードナの森」と呼んだ……。

ワードナは、今もなお、様々な手下どもを使い、その
森に迷い込む人々を水晶玉に変えている。

そればかりではなく、水晶玉に変えられた人々を助け
にその森に入っていく人までも、いろいろなワナで
殺してしまうのであった。

今ここに、旅をしている若人が二人いた。その少年と
少女の二人は結婚をしたばかりであった。

少年の名はライトス、少女の名は

ビティー。

そんな二人が、こともあ

ろうか「ワードナの森」

に迷い込んでしまったのだ。

ワードナの手下の「メイジ」

が、二人を見つけたし、





魔法によってピティーを水晶玉に変え、ワードナに渡すためにつれ去ってしまった。ライトスは悲しむ暇もなく、ピティーを助けるために一人、メイジの去っていった方へ、ワードナの森の奥へ奥へと進んでいくのであった。

森の中で、ライトスを待ち受ける魔物たち。いろいろな方法で容赦なくライトスを攻撃してくる。その攻撃をかわし、魔物たちを倒しながら進んでいくライトス。魔物たちを倒せば、小さな水晶玉やわずかなばかりのお金を手にいれることができるが、その水晶玉はつれ去られたピティーではない。しかし、水晶玉を手にいれていくうちにライトスの力が増していくのだ。おそらく、水晶玉に変えられた人々が力を貸してくれているのであろう。

それに励まされるようにライトスは進んでいく。

その頃、水晶に変えられたピティーは……。

……ここはどこなのかしら。体にも力が入らないわ。

どうしたのかしら？何も思い出せない……。

そうだわ。ライトスと暗い森に迷い込んで、それから……そう、何なのかしら、魔道士が現われて、私は魔法にかけられて……。

ああっ！私は水晶に変えられてしまったのだわ。今ごろ、ライトスは……。

きっと、彼は助けにきてくれる。きっと……。

そのうちに小さな建物が見えてきた。そこに入ろうとするライトス。しかし、その前には門番であろうか、

ドラゴンが待ちかまえていた。そのドラゴンに見つかってしまったライトスは、夢中でドラゴンに戦いを挑み、何とか倒したあとと転がるようにその建物に入っていた。

その建物は、お店であった。親切なおじいさんが、このワードナの森を進むのに役に立ついろいろな物を勧めてはくれるのだが、ライトスの持っているお金には限りがある。しかし、買えるだけの物を買ったあと、ライトスは再びこの店に来ることを誓い、ピティーを探しに出かけるのであった……。





操作方法



コントロールパッド

このゲームは
1人用専用です。

スタートボタン ・ゲームスタート ・ポーズ

Aボタン ・ジャンプ

Bボタン ・攻撃

Cボタン ・ジャンプ

8方向ボタン ・左右で歩きます。A、またはCボタン
と同時に使うと斜めジャンプが出来ます。

☆方向ボタンを下にいれると、しゃがみます。斜め下でも
同じです。

☆方向ボタン上は、はしごやロープでのみ使用します。通
常は(ジャンプ中も)意味を持ちません。

☆はしごやロープでは、方向ボタン上下で操作します。こ
の時と、フクロウにつかまっている時は、方向ボタンを左
右にいれてジャンプボタンで、左右にジャンプ出来ます。

☆その他、滑車や大きな鳥につかまっている時、方向ボタン
を下にいれることによって、飛び降りることが出来ます。



武器の説明

主人公の武器は、指先から出る魔法の炎。武器の魔法はゲ
ームが進むにしたがって、店で好きなものを買って変える
ことが出来ます。(全4種類)

パワーアップも別にあり、最高8連射が可能です。(ゲー
ム・スタート時は1発しか火は出ません)。



魔法の炎

“あまり遠くまで飛びませ
ん。”



星の剣

“波型に飛んで行きます。”



月の剣

“回転しながら飛んで行き
ます。”



太陽の剣

“最も強力なレーザー型で
す。”



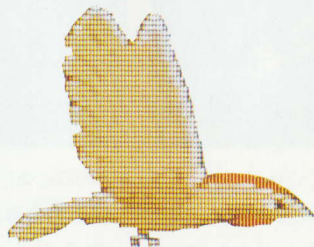
ショップとアイテム



ショップ画面

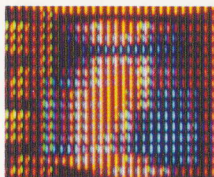
各面の間にショップがあり、アイテムを買うことができます。

敵を倒すとゴールドが出るので、それをたくさん集めれば、それだけ多くの物を買う事ができます。



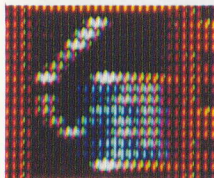
マント

マントは敵に接触しても1度だけ身をまもってくれます。



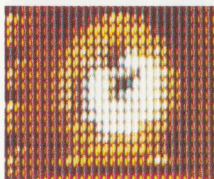
針と糸

針と糸は1度だけマントを修復できます。これとマントを持っていれば2回、敵から助かるわけですが、これだけでは役にたちません。



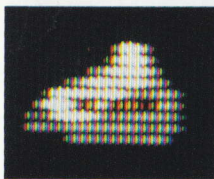
時計

時計は持ち時間がなくなったときにあと30秒延長してくれます。



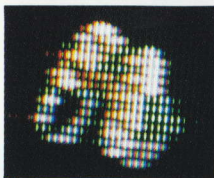
笛

笛はある特定の敵を倒すと出てきます。これを持っていると、その後間もなく大きな鳥が出てきて、それにつかまることが出来ます。



ハイジャンプ・シューズ

ハイジャンプ・シューズも特定の敵を倒すことによって、てにいれることができます。1度だけ高く飛べます。





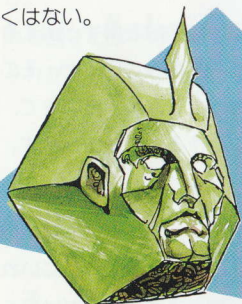
各ステージの説明



ステージ1：〈ボス：エメラルド・ドラゴン〉

ワードナの森の入口。うっそうと茂る薄暗い森のなか。途中には、不気味な沼もあり、そこに落ちてしまえば、ひとたりもない。

つたを上り、狭い足場を飛び移りながら先に進むのだ。最初のステージでもあり、無理をせずに進めばさほど難しくはない。



ギザール

一定の高さで動き回る鉄の頭。ギザール同士でぶつかって跳ね返る。

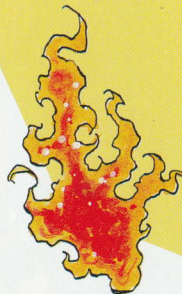
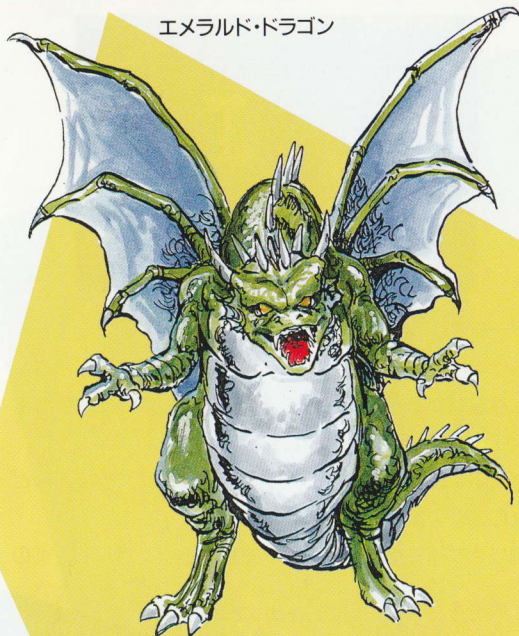


ボクル

火の海から吹き上がってくるモンスター。



エメラルド・ドラゴン

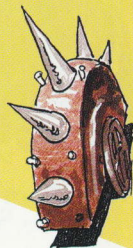


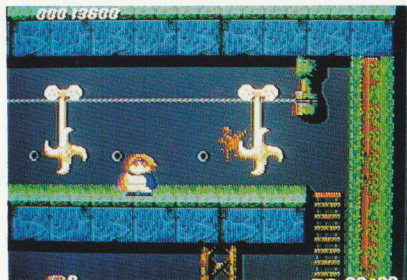
ファイヤー

燃える炎が地面をはい回る。タイミングよくジャンプして避けよう。

スパック

トゲを持って、地面をはい回る。





ステージ2：〈ボス：カジャ〉

機械仕掛けの建物。さまざまなトラップが行く手を阻む。
巨大な回転する刃物、すべての物を押しつぶしてしまうようなプレス機、足場にはベルトコンベヤー。
タイミング良く、それらのトラップをかいぐり、どんどん先に進むのだ。
無理をせず焦らずにタイミングを見計らって進んで行くのだ。

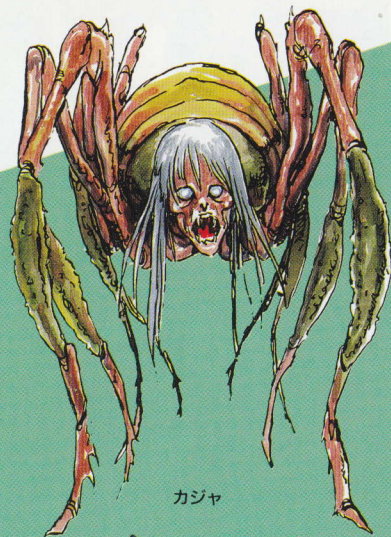
カリアゲ

1枚の刃物が回転しながら襲ってくる。タイミングを見計らいながら避けよう。



ゾンビ・ヘッド

ゾンビの頭、炎と共に現れ宙をさまよう。



カジャ



デカトン

モノドローン同様の動きをする怪物。手ごわくはない。

ヌラグッチ

奇妙な格好で飛び跳ねる。攻撃はしてこないが、タイミングがとりづらい。



ステージ3：〈ボス：ファイヤー・ドラゴン〉

一面枯れ果てた林のなか。火を噴く火山、ときどき火柱を噴き上げる火の海もある。林に入っていくとまず最初に現れるのは、マントを着て中を飛び回る骸骨。盾を持っているので正面からの攻撃は通用しない。手ごわい相手である。次々と現れる敵を倒し、どんどん進め。途中で現れる大きなハチ(?)を倒し、アイテムを手に入れるのがポイントだ。

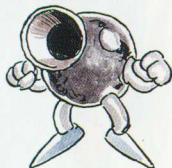


キント

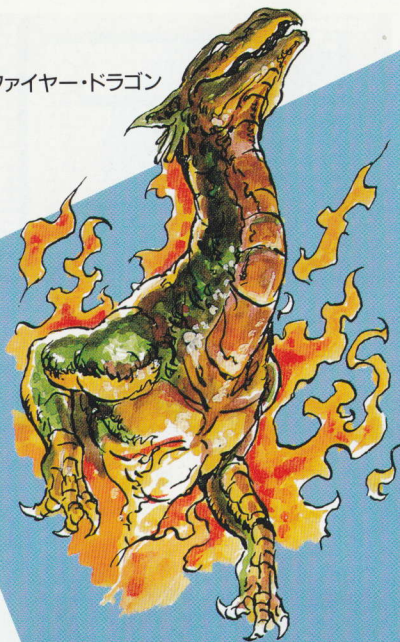
普段は右の卵だが、攻撃をすると羽と足がでてくる。

タイホー

一斉に炎を吹き出す砲台。炎を出すタイミングを見計らって避けねば。

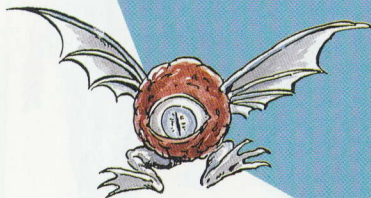


ファイヤー・ドラゴン



ブルフ

チョロチョロと動き回る敵。

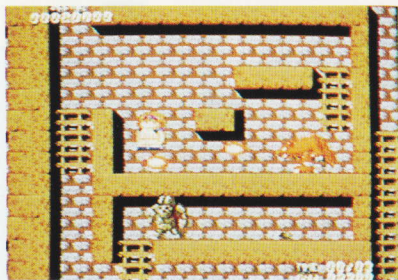


モノドローン

一つ目の奇妙な怪物。

ふわりふわり飛び跳ねている。

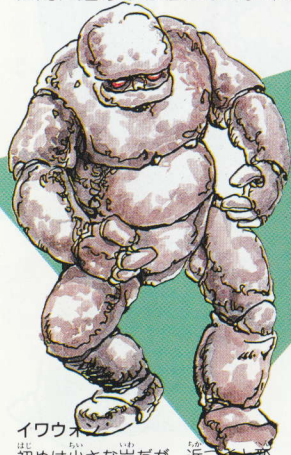




ステージ4：〈ボス：ダゴーム〉

迷路のような城。中にはたくさんのはしごがあり、それを上り降りするのだが、途中で自分を見失わないようにしなくてはならない。

城の中にはおばあさんがいて、彼女に手助けすることで楽に先に進めることになる。果たしてその方法とは……？



イワウオ

初めは小さな岩だが、近づくと変身して襲ってくる。

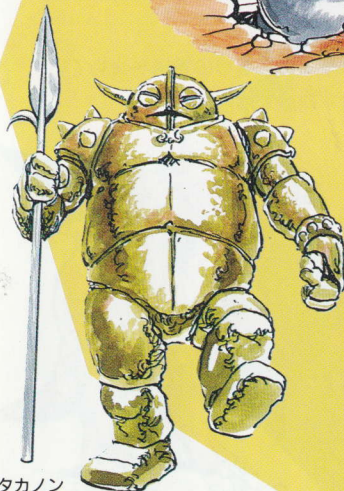
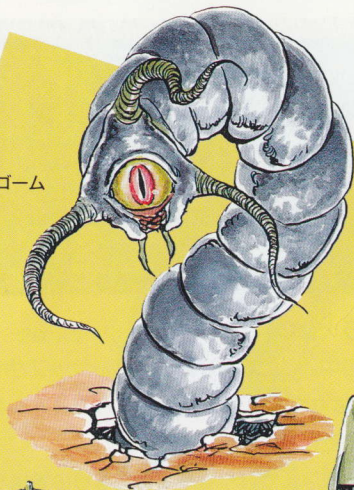


ゾンビ

死の世界からよみがえったゴースト。いたるところで、うろろしている。



ダゴーム



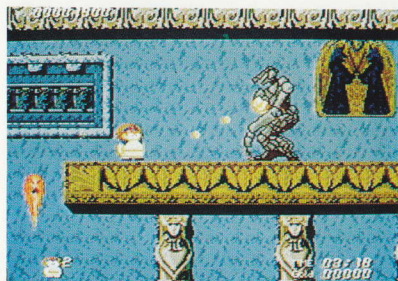
タカノン

岩を転がして攻撃してきたりする手ごわい相手。倒し方には工夫がいるかも……。



メイジ

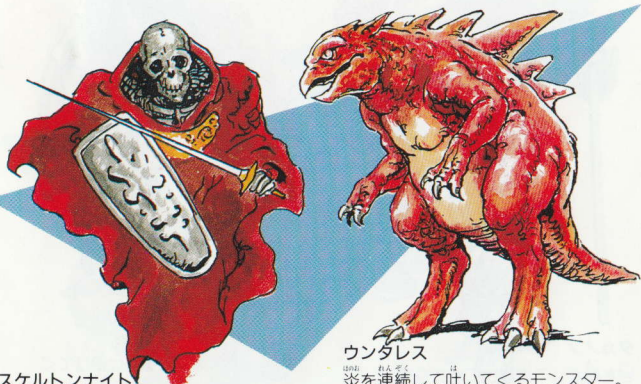
火の球で攻撃を仕掛けてくるので注意が必要。ただし、移動はしない。



ステージ5：〈ボス：グロッコ〉

巨大な城の中。ここにもいろいろなトラップが待ち受けている。そればかりではない。今までにみたこともないような魔物が待ち受けていた。

それぞれの敵は、かなり強敵でそれなりの覚悟を決めていかなないとクリアすることは不可能であろう。

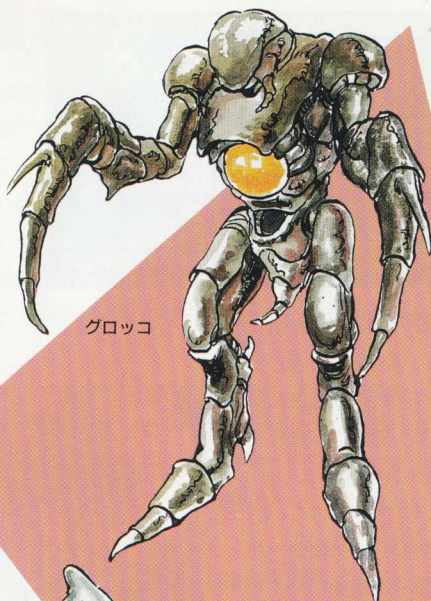


スケルトンナイト

盾を持って宙を飛び回る。正面からの攻撃にはビクともしない。

ウンダレス

炎を連続して吐いてくるモンスター。炎を避けながら攻撃しなくてはならず、手ごわい相手。



グロッコ



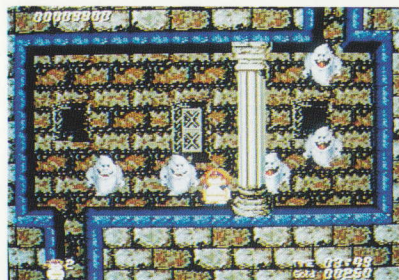
ゴースト

大量に列をなして襲ってくる。武器を選ばないと倒すことはできない？

ハービー

群れをなして飛び回る怪鳥。





ステージ6：〈ボス：ワードナ〉

ワードナの潜む部屋に通じる地下。それぞれの部屋にはワードナによって選り抜かれた魔物達が行く手を阻む。

ここでは、トラップはない。魔物達との力だけの勝負である。ここまで来る間にたくわえた経験を生かして突き進もう。

果してワードナの正体とは…

…？



レインボウ



攻 略 法

タイミング・ゲームなので、早く敵の動くパターンをつかみ、タイミングよく攻撃、回避をするとうまくいきます。

アイテムの揃えかたは、最初の店でまず、星の魔法を買えば買った方が良いでしょう。もしすでにマントを手に入れているれば、針と糸も買っておくといいです。

次の店では月の魔法か、太陽の魔法のどちらかを買い、まだゴールドがあれば、その他の物を買うのも良いでしょう。

そして最後の店では、是非ともマント・時計・針と糸、持てる限りの物を買っておいて下さい。ただし注意したいのは、ゲームを最後までやるつもりであれば、武器は月の魔法にしておかないと、最終面でかなり苦しむ事になります。

途中で、妖精の像を取ることによって、主人公の後ろに妖精がつきます。この妖精は敵を攻撃こそしませんが、敵がこの妖精に触れると、たちまちその敵は死んでしまうという、力強い見方です。うまく妖精を使いこなせるようになれば、ゲームのコンプリートも楽になるでしょう。

妖精は最高2人までつけることができます。

